

# 振興会ミニ通信

平成 26 年 9 月 24 日発行 第 5 号

発行者 福島県授産事業振興会

電話 024-563-1228

秋分の日が過ぎこれからは日が短くなっていきます。  
県北・相双担当復興支援員から第 5 号のミニ通信を送ります。

## 【県北】

### 【アンテナショップ福祉の店ふくしま】

『福祉の店ふくしま』1 期は、中合福島店において、40 の施設が参加し、8/21~8/27(6日間)の日程で開催されました。期間中は、雨が多い天気の中での開催となりましたが、多くの方に来店いただき 100 万円を超える売上となりました。



『福祉の店ふくしま』の第 2 期は、10/16~10/21 の日程で中合福島店で開設されます。各施設が出展した多種多様な商品をご覧ください。

### 【気持ちのバリアフリープロジェクト】

企業を訪問して協力を依頼しています。訪問した企業の中で少しずつ広がりが出てきています。福島銀行では、全支店にポスターを掲示して載せております。県外の団体にもポスター、クリアファイル等送らせていただいています。

(震災復興支援員 県北担当 佐々木)

## 【相双】

- ① 8 月 8 日(金)に開催された福島キャノン納涼祭に、初めて障がい者施設の展示即売会を開催させて頂きました。当日は台風による大雨でしたがイベントの終わり頃には雨が上がり、メインイベントである約 40 分の打ち上げ花火が無事終了しました。毎年約 4,000 人の集客がありますが今回は雨の為に約 2,600 人の集客でした。

昨年の 12 月から月 2 回昼休みを利用した展示即売会を開催させて頂いている中で、納涼祭にも参加する事ができました。

福島キャノンの皆様には大変お世話になり感謝しております。

- ② 南相馬市の NPO 法人あさがおでは、主力で製造販売をしている、豆腐・豆乳・油揚げの原料になる青ばた豆を栽培しております。西理事長のこだわりで栽培は無農薬です。年間使用量が不足するため、現在秋田県の方から一部を購入しております。



春にボランティアの方々・職員・利用者で種を撒きましたが、今年の夏は大変暑い日が続いた為、西理事長を先頭に職員・利用者の方々が畑の草むしりを何度も行ないました。間もなく収穫の時期になりますが、今年も品質の良い豆が収穫され、良い商品ができ、支援員として販売協力をを行い、利用者の工賃向上になることを願っております。

(震災復興支援員 相双担当 佐藤)

## 《本部から》

振興会では今年度、社会貢献事業として「気持ちのバリアフリープロジェクト」を展開中です。気持ちのバリアフリーとは「こまったら こえかけてね」の意思表示であり日本人としての思いやりのことです。

復興チャリティゆるキャラ【あたまがふくしまちゃん】がシンボルマークです。グッズとして、ステッカー・クリアファイル・缶バッジを用意しておりますので当会にお問い合わせください。

